



ともに
みらいへ

つばき工房では、日々の生産活動や就労に向けた訓練の他、興味のある分野を自ら選択し、挑戦する場の部活動を定期的実施しています。



この言葉を通して
たくさんの人に
感謝の気持ちを伝えたい



書道部



調理部



運動部

理事長就任のご挨拶



理事長 石黒 徹

令和六年四月二十四日の理事会において社会福祉法人さくら園の理事長に就任いたしました石黒徹でございます。

ご存じのとおり、さくら園は、昭和六十年九月の法人設立以来三十九年の間、地域や時代の要請に応えるべく地域福祉の発展に努めて参りました。この間、利用者はじめ、職員や地域の皆さまほか、多くの方々のご理解と、ご支援により今日があることに、改めて感謝申し上げます。

我が国の社会福祉が大きな変革期を迎えている中、なかなか先が見通しにくい時代に、理事長の職に就くにあたり、その責任を重く感じております。

そのような中で、これまで培ってきた法人として守っていくものと、これからの社会福祉に対する様々な期待にお応えするべく変えていくものを、しっかりと判断し、舵を取っていくことが必要と感じています。

そこで、法人運営に携わるうえで、次の三点を指標に掲げることにいたしました。

一つ目は、「保護者との強い連携のもと、利用者第一の支援を実施する。」ということ。これは改めて言うまでもなく、さくら園の基本理念そのものです。保護者と職員はそれぞれの立場を尊重し、相互理解のもとでこれまで以上に連携して、利用者が自分らしく、自立した生活を送れるよう支援してまいります。また、各工房の代表者によって組織される「保護者会ネットワークさくら」との連携も大切です。個別の問題だけではなく、さくら園の運営についても情報を共有し、共に考えて、よい方向に進めていきたいと考えます。

二つ目は、「職員が幸せに働ける職場づくりを推進する。」と

いうことです。働きやすい職場をイメージする時、真っ先に考えるのは人間関係ではないでしょうか。同僚同士はもちろん、上司と部下の人間関係が良い職場は、働きやすい職場の大きな特徴です。それぞれが意見を出しやすい環境を整えることで、職員がストレスを感じにくく、仕事に対するモチベーションを維持しやすくなります。これは、職員の離職率を下げることも効果的です。各工房やセンターにおける取組に期待したいと思います。また、IT技術を利用した業務のシステム化も急務です。とくに、ミスが起こりやすい事務処理やソフト管理などは、ITツールを導入することで、職員の精神的負担が減るとともに、ミスの修正にかかっていた時間の削減など、多くのメリットを期待することができます。システム化をおこなうと、定型業務の作業時間が短縮され、本来の業務である利用者支援に多くの時間を割くことが可能になります。

三つ目として、「地域で評価され信頼される法人として存続していく。」ことを掲げました。これも地域で生きる社会福祉法人としては基本的なこと。これまでも公益的な取り組みとして、福祉避難所の設置や、子ども食堂の支援、施設や車両の貸出などを行っており、一定の評価を頂いていますが、ガバナンスの強化や情報開示の継続といったことも信頼される法人の要件といえます。

これからも、さくら園が地域の社会資源として、皆さまに信頼していただけるよう、また、安心してご利用いただけるよう、役職員一同力を合わせて精進して参ります。

さくら園の活動に、何卒ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さくら園に感謝

保護者としての想い



さくら園保護者会
ネットワーク会長
高橋 英子

私の長男は、平成十九年からつばき工房を利用しています。私は、障がいがあるからといって、家の中に閉じこもるのではなく、進んで社会に出て、自分のできること、やってみたいことをさせてあげたいと思います。新しいことにチャレンジし、クリアするまでには、かなりの時間を要するかもしれませんが、健常者の方からしたら、当たり前に行えることなのかもしれません。

しかし、障がいがある人からしたら、大きなチャレンジです。そして、クリアできた時の喜びは、人一倍うれしいものだと思います。家族のふれあいも大切だと思っています。子どもが工房から戻ってきて、言葉がなくても、表情で理解できる部分はたくさんあります。そんな様子を見ながら、明るく、朗らかに過ごすことができるのは、さくら園の各工房のおかげだと思います。

工房の職員さんは、日々支援の研鑽、研修会等で学んだことを実践されています。障がいがあってもそれぞれ意見、考えは持っています。それを理解し、個人に合った対応をしてくださることをありがたく、感謝しています。

私たち保護者も、保護者同士意見を出し合い、連携を密にし、つながりを深めていきたいと思っています。

これからのさくら園は、今以上に 障がい者である我が子が明るく、楽しく通所できる事業所であってほしいと思います。

私たち保護者も協力させていただきます。これからもお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和六年度 さくら園保護者会ネットワーク役員

役職	氏名	所属施設
会長	高橋 英子	つばき工房
副会長	畑中 春吉	北さくら工房
副会長	佐藤 恵子	南さくら工房
会計	星野 玲子	つばき工房
理事	清水 弥生	さくら工房
理事	澤海 綾子	南さくら工房
理事	石塚賢一郎	居多さくら工房
理事	居島 勉	居多さくら工房
監事	丸山カユ子	さくら工房
監事	田代 祐子	北さくら工房

令和六年度

さくら園各工房保護者会 会長

- ・ さくら工房 清水 弥生
- ・ つばき工房 高橋 英子
- ・ 北さくら工房 田代 祐子
- ・ 南さくら工房 澤海 綾子
- ・ 居多さくら工房 石塚 信子

北さくら工房

直江津小学校4年生との交流

4年生の総合学習の一環で交流がスタート。工房の作業体験、海岸清掃、うみまちアートの作品作り、手作り雑貨制作、三八市で販売、ポッチャと様々な活動を一緒にやっています。

最初はお互いに緊張していましたが、回を重ねると距離が縮まり、笑顔で交流。

これからも地域とのつながりを大切にします。



居多さくら工房

海岸清掃

居多さくら工房から見える直江津海水浴場。地域の皆さんや海水浴客が気持ちよく使えるよう、一昨年から海岸清掃を行っています。

工房から海水浴場まで徒歩、途中道路沿いのゴミ拾いもしました。

地域美化に貢献するとともに、利用者の皆さんが環境意識を高める活動になっています。



南さくら工房

ともにみらいへ作品展

歩行、外出行事、PC回収など、外出の機会を通して挨拶を交わし、地域の人との繋がりを大切にしています。

また、自分らしい表現、創造、持っている能力や願いを、多くの人に知ってもらえるようアートで発信しています。



地域活動を紹介します

さくら工房

シクラメン即売会

2月に行った即売会には、大勢の地域の人に来場していただき、賑やかな即売会となりました。



即売会は、利用者と職員が、袋詰めやお金の受け取りなどで大忙しです。

つばき工房

ありがとうブランド感謝祭

「地域の人に、活動やありがとうブランドを知ってもらいたい」、「お世話になっている皆さんに感謝の気持ちを伝えたい」、との思いで平成21年から開催。令和5年度の13回目は、キッチンカーを呼びました。時代とともに少しずつ形を変えながらも、想いは変わらず、地域の人や取引先を中心にピーアールしています。



さくらホーム

環境美化運動

町内の整備活動に、ホームそれぞれに参加しています。側溝の泥揚げや、ポイ捨てペットボトルの回収、公園周辺の草取りなどに、入居者皆が頑張っています。



こんなに集めました

- ・さくら工房
- ・北さくら工房
- ・つばき工房



職場のマナーとルールについて学びました

就労プログラム

企業見学や事業所見学をしています。障がい者が働く姿や環境を実際に見て、就労意欲の向上を図り、自分が働くイメージを持ちながら、就職に対する興味、関心を高めていきます。



二人一組になり、挨拶練習



企業見学



就職に向けて座学中

就労移行支援

職場実習



洗濯機投入作業

協同公社実習



ガウンを丁寧にハンガーにかけます



渡辺ドライ実習
袋たたみ作業



ナルス実習
野菜の袋詰め作業

就労支援

作業頑張ってます
工房内作業



クリーニング



ありがとうブランドタオル
贈答用に丁寧に箱詰め



食材を包むキャブロン拭き
一枚ずつ検品し、消毒拭きします



上越市指定ゴミ袋作業
はみ出さないように角を合わせて
折ります



段ボールの仕切り
組立て作業
細かな工程も手を抜きません

就労継続B型

施設外作業

施設外作業は、天候に左右される屋外作業ですが、任された仕事に責任を持って取り組んでいます。

仲間と協力した作業が終わると、達成感もひとしおです。



春日山きのこ園
除草作業を行います



越後まほろば倶楽部
きのこ駒打ち作業



岩の原葡萄園
剪定枝の片付け



上越市役所
ロビーを掃き掃除します

南さくら工房



アート、音楽活動で
表現力アップ!



きれいな音♪



自然に体が
動きます♪

一人ひとりがアーティスト



遠くまで腕が伸びます



絵本に笑顔

作業療法士が
心と体のリハビリテーション



感覚統合療法

私たちが
支援します



作業療法とは、日常生活に手助けを必要とする全ての人を対象に、自分らしさを見出すためのリハビリテーションです。

中でも感覚統合療法は、遊びを通して感覚機能の発達を促すことを目的とし、感覚の受け止め方を整えて、暮らしの質の向上を図ります。

居多さくら工房

生活

ペットボトル洗い



ラベルはがし



缶分別



私はこれが得意です!!



上越市のごみ袋梱包



手縫い雑巾



出荷後の外食訓練



日々の余暇活動



季節の行事

これでリフレッシュ!



週末のドライブ



毎日、世話人が調理した、
できたての食事を提供しています。



残さずに
食べてくれて
とても嬉しいです

食材は国産で
安心です



(おかずのみ)

●エネルギー337.00kcal 蛋白質14.80g 脂質17.7g
炭水化物29.9g 食塩相当量3.7g

おいし
い
で
す
さ
く
ら
ホ
ー
ム
の
食
事



野菜が沢山の
朝食は1日の
活力源

献立表

メニュー例：2024年07月02日(火)

品名	分量	アレルギー	備考
豚汁	1杯		
白飯	1杯		
揚げ豆腐	1切れ		
人参	1切れ		
豆腐	1切れ		
わかめ	1切れ		
こんにゃく	1切れ		
卵	1個		
しょうゆ	少々		
ごま油	少々		
塩	少々		
味噌	少々		
だし	少々		
しょうが	少々		
酒	少々		
水	少々		

24ヶ月体弱多病高齢者献立表

品名	分量	アレルギー	備考
豚汁	1杯		
白飯	1杯		
揚げ豆腐	1切れ		
人参	1切れ		
豆腐	1切れ		
わかめ	1切れ		
こんにゃく	1切れ		
卵	1個		
しょうゆ	少々		
ごま油	少々		
塩	少々		
味噌	少々		
だし	少々		
しょうが	少々		
酒	少々		
水	少々		

管理栄養士がたてた
健康志向のメニューです。

今日も
美味しいごはん
いただきます!

誕生日には
お寿司を
いただきました



休日は
手作りおやつで



温かい気持ちに支えてもらい、安心して地域で暮らしています



五智新町の安全安心パトロールボランティアの矢澤さん。さくらホーム五智の利用者が送迎バスの乗降場所とホームまでの間を見守っていただいています。「挨拶は大事。毎日、声をかけると返してくれる。嬉しい。」と語ってくださいました。

また、送迎バスの乗降場所近くにお住まいの小林さん。「雨風、雪の日の姿が気になっていました…。安全確保にお役に立てればと思います、矢澤さんからカーポートを雨宿りに貸してくれないかとの話に即了承しました。」

就職おめでとう (敬称略) (令和5年7月～令和6年6月)

さくら工房

- ・笠島美津子 (株式会社テラスカイ)
- ・笠原綜一郎 (株式会社テラスカイ)

北さくら工房

- ・泉哉子 (居多さくら工房)

寄付・助成

さくら園

- ・匿名 (二万円)

さくら工房

- ・日鉄工材株式会社 (寄付金7万5千円)
- ・青野果樹園 (ル・レクチェ)
- ・新潟県労働金庫 高田支店 (寄付金3万円)

つばき工房

- ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団 (業務用洗濯機)

北さくら工房

- ・公益財団法人真柄福祉財団 (エアコン3台)

南さくら工房

- ・公益財団法人日本財団 (キャラバン車椅子4台固定 306万円助成)

居多さくら工房

- ・居多さくら工房保護者会 (10周年記念樹)



公益財団法人日本財団から

さくら園の財政状況 (令和5年度決算)

● 貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	336,760,145	流動負債	36,596,552
現金預金	207,339,097	事業未払金	22,964,328
事業未収金	91,380,722	1年以内返済予定リース債務	7,854,794
未収補助金	32,776,365	預り金	112,640
貯蔵品	191,843	職員預り金	5,664,790
商品・製品	1,737,045		
仕掛品	364,751		
原材料	777,505		
前払金	719,900		
前払費用	1,472,917		
固定資産	741,441,702	固定負債	28,761,278
基本財産	499,702,416	リース債務	16,455,278
土地	144,797,017	退職給付引当金	12,306,000
建物	354,905,399	負債の部合計	65,357,830
その他の固定資産	241,739,286		
建物	3,843,609	純資産の部	
構築物	17,916,570	基本金	145,982,064
機械及び装置	7,728,808	第1号基本金	129,183,242
車輛運搬具	15,772,241	第3号基本金	16,798,822
器具及び備品	14,373,660	国庫補助金等特別積立金	237,802,214
有形リース資産	13,415,606	その他の積立金	144,611,000
権利	213,224	施設整備等積立金	76,611,000
ソフトウェア	472,500	人件費積立金	68,000,000
無形リース資産	10,744,778	次期繰越活動増減差額	484,448,739
退職給付引当資産	12,306,000	(うち当期活動増減差額)	2,558,189
施設整備等積立資産	76,611,000		
人件費積立資産	68,000,000		
長期前払費用	340,290		
その他の固定資産	1,000		
資産の部合計	1,078,201,847	純資産の部合計	1,012,844,017
		負債及び純資産の部合計	1,078,201,847

● 資金収支計算書

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	41,150,261
	障害福祉サービス等事業収入	608,948,898
	経常経費寄附金収入	225,000
	その他の収入	6,545,848
	事業活動収入計(1)	656,870,007
支出	人件費支出	462,199,423
	事業費支出	58,634,739
	事務費支出	58,256,852
	就労支援事業支出	42,175,474
	その他の支出	485,741
	事業活動支出計(2)	621,752,229
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	35,117,778
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	5,261,000
	固定資産売却収入	235,900
	施設整備等収入計(4)	5,496,900
	支出	
固定資産取得支出	12,370,902	
ファイナンス・リース債務の返済支出	8,867,542	
	施設整備等支出計(5)	21,238,444
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 15,741,544
その他の活動による収支	収入	
	その他の活動による収入	36,260
	その他の活動収入計(7)	36,260
	支出	
	積立資産支出	6,267,500
その他の活動による支出	31,050	
	その他の活動支出計(8)	6,298,550
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 6,262,290
	予備費支出(10)	-
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	13,113,944
	前期末支払資金残高(12)	292,025,142
	当期末支払資金残高(11)+(12)	305,139,086

● 事業活動計算書

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	就労支援事業収益	41,150,261
	障害福祉サービス等事業収益	608,948,898
	経常経費寄附金収益	225,000
	その他の収益	4,957,000
	サービス活動収益計(1)	655,281,159
費用	人件費	463,466,923
	事業費	58,634,739
	事務費	58,256,852
	就労支援事業費用	41,432,379
	減価償却費	53,935,869
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 21,664,790
	サービス活動費用計(2)	654,061,972
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,219,187
サービス活動外増減の部	収益	
	その他のサービス活動外収益	1,588,848
	サービス活動外収益計(4)	1,588,848
	費用	
	その他のサービス活動外費用	485,741
	サービス活動外費用計(5)	485,741
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,103,107
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	2,322,294
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	5,261,000
	固定資産売却益	235,897
	特別収益計(8)	5,496,897
	費用	
固定資産売却損・処分損	2	
国庫補助金等特別積立金積立額	5,261,000	
その他の特別損失	0	
	特別費用計(9)	5,261,000
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	235,895
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,558,189
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	486,890,550
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	489,448,739
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	5,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	484,448,739